

項目別評価

大項目1. 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上

評価：A

1 高度専門医療の提供及び医療水準の向上

小項目数	V	IV	III	II	I
16	0	0	16	0	0

- 【急性期C】
災害医療訓練やDMAT研修の実施、心疾患や脳血管疾患等に係る専門医療の提供 等
【救急車搬入患者数】 実績：9872人 / 年度計画目標値：9200人
 - 【はびきのC】
呼吸器疾患に係る専門医療の提供、地域の医療ニーズに対応するために救急患者の受入れ拡大 等
【重症アトピー性皮膚炎患者に対する処置件数】 実績：11161件 / 年度計画目標値：9000件
 - 【精神C】
緊急措置入院等の受入れ、各依存症の治療プログラムの運用及び効果検証等の実施、発達障がい診断等の児童思春期精神科医療の充実のための研修制度の創設 等
 - 【国際がんC】
あらゆるがん患者に対する最適な集学的治療の提供、都道府県がん診療連携拠点病院として協議会等を開催、がんゲノム医療拠点病院として先進医療によるがんゲノム医療の実施 等
 - 【母子C】
ハイリスク妊産婦等に対する高度専門的な医療の提供、小児救命救急センターとして救急搬送患者の受入れ実施、地域診療情報連携システムの登録医療機関数増加 等
- 新型コロナウイルス感染症対応として、行政検査の検体採取や感染患者の受入実施 等

(2) 診療機能充実のための基盤づくり (小項目⑨～⑩)

医師の働き方改革に係る医師労働時間短縮計画の検討、医師や看護師等の医療人材の確保、長期自主研修支援制度による資格取得の促進 等

(3) 府域の医療水準の向上 (小項目⑪～⑬)

地域医療機関を対象とした研修会の開催、大阪国際がんセンターにおける連携登録医等の増加、大阪母子医療センターにおける移行期医療の啓発活動 等

(4) より安心して信頼できる質の高い医療の提供 (小項目⑭～⑯)

インフォームド・コンセントの徹底、医療相談等の実施、服薬指導件数の年度計画目標値達成 等

2 患者・府民の満足度向上

小項目数	V	IV	III	II	I
4	0	0	4	0	0

(1) 患者満足度調査等の活用及びホスピタリティの向上 (小項目⑰)

患者満足度向上のため、5病院間での患者サービスに関する情報共有、イベント等の実施、NPO法人や他医療機関との意見交換等の実施

(2) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善 (小項目⑱～⑲)

呼出サービスや後払いクレジット決済システムの運用による外来待ち対策の実施、採血受付の機械化や検査システム見直し等による検査待ち時間の短縮、麻酔医の確保や手術枠の調整等による効率的な手術室の運営

(3) ボランティア等との協働 (小項目⑳)

新たな通訳ボランティアの確保、患者サービス向上のための多様なボランティアの受入 等

大項目2. 業務運営の改善及び効率化

評価：A

1 組織体制の確立

小項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

(1) 組織マネジメントの強化 (小項目㉑)

各種会議を通じ医療面及び経営面における課題の把握と改善に努め、労務管理のシステム改修や研修の実施により長時間労働の防止策を推進した。

(2) 診療体制の強化及び人員配置の弾力化 (小項目㉒)

各病院間での兼務や応援を継続して実施した。

(3) コンプライアンスの徹底 (小項目㉓)

コンプライアンス研修の実施、内部監査及び第三者による監査の実施、規程に基づいたカルテ開示など、コンプライアンスの徹底に取り組んだ。

2 経営基盤の安定化

小項目数	V	IV	III	II	I
6	0	0	6	0	0

(1) 効率的・効果的な業務運営・業務プロセスの改善 (小項目㉔)

機構全体における経常収支比率や医業収支比率等が年度計画目標値を達成、医事部門の機能強化に向けた取り組みを実施した。

【経常収支比率】(機構全体) 実績：99.4% / 年度計画目標値：97.7%

【医業収支比率】(機構全体) 実績：93.4% / 年度計画目標値：92.1%

(2) 収入の確保 (小項目㉕～㉖)

地域連携の強化やベットコントロールの実施、病床利用率や新入院患者数が年度計画目標値に対し達成度が90%以上、診療単価が全センターにおいて前年度を上回った。

(3) 費用の抑制 (小項目㉗～㉘)

SPDの活用による材料費の縮減に向け取り組み、後発医薬品採用率は全センターにおいて年度計画目標値を達成した。

全体評価

大項目1「府民に提供するサービスその他の業務の質の向上」については、高度専門医療の充実など医療の提供体制の強化に努めるとともに、府域の医療水準の向上を目指し、地域医療機関との連携強化を推進するなど、年度計画を計画どおり実施している。

大項目2「業務運営の改善及び効率化」については、業務運営の改善及び効率化に向け、機構全体の経営マネジメントの強化を図りながら、収入の確保・費用の抑制など安定的な病院経営の確立に取り組んでおり、年度計画を計画どおり実施している。

評価結果⇒「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している」